

# 北海道医歌人会詠草



## 男と女

地位もある男の性的逸脱に涙ぐましき雄の性見る

狼になれぬ男は月の夜をただ悶々と明かし暮らせり

生まれ落ち死に至るまでの生存で消耗激しき雄という性

不定愁訴多き女性が男より病いを越えて長生きの謎

「ひとりでも生きて行ける」とたくましき女性の選ぶ幸せ離婚

釧路 兎玉 昌彦

## 老人の愚痴

若き日は気付かず過ぎぬ婚遅く孫稚きは悔いも多しと

長男の長子漸くジュニアハイ何時まで爺に生きよとや言う

二十歳若き爺達孫どもの進学戦線喜憂隠さず

一族の進学すべて終れりと言ひ給うきみ我より若し

爺様あり孫が角帽被るまで生きて居たいが口癖なりき

札幌 古屋 統

## 春近し

乙女等の華やぐ姿が活き活きとあふれて菓立つ謝恩会場

無防備に寝惚け眼で迎えるは吾が家の可愛い猫のチロチヤン

如何様に料理されるや魚屋に賣れ残りたるゴツコの姿

その昔労組で旗を振りし人今自民党にて国会に立つ

この年で料理習うと思ひ立ち先生と呼ばれ乍ら生徒の一人

旭川 稻積 文子

## 中学合格

合格証手にする葉月と並びたり背丈も伸びて既に頼もし

中学の合格とても嬉しいがこれから六年の汽車通がある

制服はおぢいちゃんのお祝ひと④に行く日を決めて訪ひ来る

病室の窓に見下ろす薬局の処方箋受付がいたく気になる

三月の陽の差す病室に一人あて何時しか我は微睡みてあり

美唄 吉村 誠治

## 春の予感

残雪を持ち上げたぞとクロツカスは春の目覚めの誇らしげな顔

雪嵩の目に見え減り行く春の予感明日の気温を気にしている吾

名も知らぬ渡り鳥らの一群の春告げる歌目覚ましとして

春が来た野にも山にも春が来た高野翁の歌口ずさむ

乙女らは笑顔交わして自慢げに華やかな服を競い合うように

江別 三宅 浩次

## コニシキサウ

希少種のコニシキサウの群落が雑草と見て抜き捨てられつ

追慕会人らの名前と行年を聞く戦地にて外地にてなど

熊が出る恐れと言ひて入林が差し止めとなる秋の里山

椽餅は聞けども見ずと言ふ人へ落果拾ひて手提げに納む

患者怪我久しくも執る持針器に糸し損なふ縫ふには果たす

札幌 浜島 泉